



鶏形埴輪
(島戸境3号墳)



朝顔形埴輪
(小川崎台3号墳)



円筒埴輪(和田古墳群)



人物埴輪
(森台7号墳)



人物埴輪
(小川崎台3号墳)



馬形埴輪
(経僧塚古墳)

企
和
画
6
年
展
度

埴輪展

期間 令和6年4月20日(土)

~ 令和7年5月11日(日)

山武市歴史民俗資料館

開館時間 午前9時~午後4時30分

- 休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)・年末年始
 - 入館料 学生・一般 140円/小・中・高生 90円
65歳以上・未就学児・山武市内在住者は無料
- 〒289-1324 千葉県山武市殿台343-2 ☎ 0475-82-2842

令和6年度企画展「埴輪展」概要

「埴輪」は、古墳に並べられた粘土の焼き物です。古墳は古墳時代（3世紀中頃～6世紀末頃）に造られたお墓で、山武市内には、作田川・境川・木戸川流域の台地上を中心に約500基もの古墳がつくられました。今回の「埴輪展」では、過去の発掘調査により古墳から発見された様々な埴輪を紹介します。

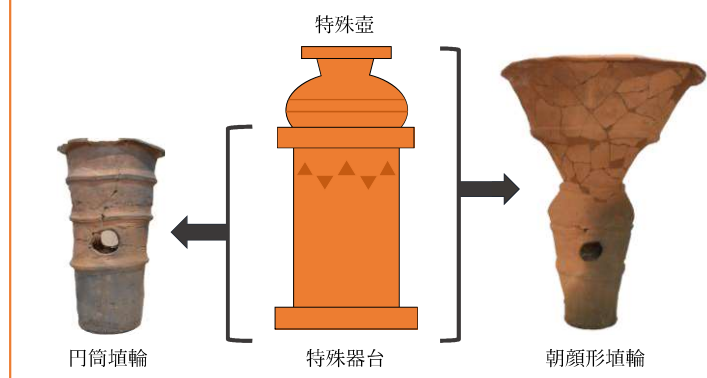
古墳時代の人々の思いが込められた埴輪の世界をお楽しみください。



人物埴輪（経僧塚古墳）

埴輪とは

～円筒埴輪・朝顔形埴輪の成り立ち～



埴輪には、筒の形をした「円筒埴輪」と、人物や動物などの姿を象った「形象埴輪」があります。

最初につくられたのは円筒埴輪でした。その前身は、弥生時代の終わり頃(2世紀)に吉備(岡山県・広島県東部辺り)で見られる儀式用の「特殊器台」と考えられています。特殊器台は特殊壺を置くための台座として使用されましたが、その台座の部分のみが円筒埴輪へと変化し、全国的に広がっていきました。

また、口縁部が朝顔の花びらのように外側に開いている埴輪は「朝顔形埴輪」と言われます。特殊器台と特殊壺が一体化した形と考えられています。

円筒埴輪は、7世紀初頭にはつくられなくなります。

一方で形象埴輪は特殊器台や円筒埴輪の出現より遅く、古墳時代前期(4世紀)に壺・家・盾・蓋(王にさすかさ)・鞞(矢を入れる道具)などがつくられ始めます。これらは古墳に埋葬された人を守る意味があったと考えられています。

古墳時代中期(5世紀中頃)になると、人物や動物の姿をした埴輪がつくられ始めます。これらの埴輪は、古墳の一番目立つ場所に置かれました。人物埴輪や動物埴輪は葬送の儀式や首長の継承の儀式などをあらわしたと考えられ、特に馬の埴輪は軍事力や富の象徴でした。そのような埴輪をたくさん並べることで、古墳に眠る首長の生前の権威をアピールしたのです。

形象埴輪は、前方後円墳がなくなる6世紀末以降には姿を消していきます。

島戸境3号墳（島戸境古墳群）

帆立貝式古墳



円筒埴輪
（島戸境3号墳）

島戸境3号墳から出土した埴輪の種類は、円筒・朝顔形・人物・鳥・馬・家・イノシシ・鹿（角部）など多様で、円筒埴輪は「山武型埴輪」といわれる山武地域特有の埴輪です。小川崎台3号墳でも同様の山武型埴輪が発見されています。



鹿の角の埴輪
（島戸境3号墳）



水鳥形埴輪
（島戸境3号墳）

～水鳥と鶏の埴輪～

水鳥は水辺で暮らし、その多くは長距離を飛ぶ渡り鳥です。古墳に埋葬された人の魂を死後の世界へ案内するなどの意味があったと考えられています。

一方で鶏は、現在でも早朝に鳴いて夜明けを告げる鳥として知られますが、古墳時代の人々にとっても、鶏は時刻の区切りを知らせる鳥でした。そこから、鶏が闇夜を祓って太陽を昇らせたとし、鶏形埴輪にも闇や悪いものを祓う意味が込められたと考えられています。



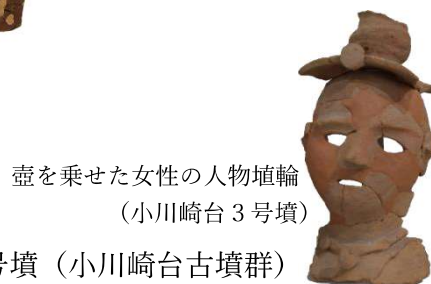
鶏形埴輪
（島戸境3号墳）

森台7号墳（森台古墳群）

前方後円墳

森台古墳群の7号墳から埴輪が出土し、円筒埴輪のほか、通称「砲弾形の頭部をした人物埴輪」と「天冠をかぶった人物埴輪」が発見されています。砲弾形の頭部の人物埴輪は下げ美豆良を結っており古墳時代の髪型を知ることができる貴重な資料です。

砲弾形の頭部をした人物埴輪
（森台7号墳）



壺を乗せた女性の人物埴輪
（小川崎台3号墳）

経僧塚古墳（麻生新田古墳群）

円墳

経僧塚古墳からは円筒埴輪や馬・人物・家などの多種多様な形象埴輪が墳丘に立てられていたことが発掘調査や過去の記録から明らかになっています。



馬形埴輪（経僧塚古墳）

小川崎台3号墳（小川崎台古墳群）

前方後円墳

前方後円墳から円筒埴輪・朝顔形埴輪をはじめ、人物・鳥などの多様な形象埴輪が出土しています。埴輪の形状は殿部田1号墳（芝山町）とも類似し、山武地域の埴輪を研究する上で重要な資料です。



琴弾きの男性の人物埴輪
（小川崎台3号墳）



琴の埴輪
（小川崎台3号墳）

表1 山武市内で埴輪が出土している主要古墳一覧

地図	古墳群	古墳	所在地	年代	墳形	墳丘規模	埋葬施設	埴輪
①	小川崎台古墳群	小川崎台3号墳	戸田 (境川中流域左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀前半)	前方後円墳	全長25m	木棺直葬	円筒、人物、 馬、家、鳥
②	麻生新田古墳群	経僧塚古墳	野堀 (境川左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀後半)	円墳	全長45m	横穴式石室 (箱式石棺)	円筒、人物、 馬、家、鳥など
③	島戸境古墳群	島戸境3号墳	島戸 (境川左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀後半)	帆立貝式	全長23m前後	不明	円筒、人物、 馬、家、鳥、 イノシシ、鹿
④	富田古墳群	富田13号墳	富田 (境川と木戸川に 挟まれた台地上)	古墳時代後期	前方後円墳 (帆立貝式?)	全長30m前後か	不明	円筒、人物
⑤	埴谷古墳群	埴谷1号墳	埴谷 (境川左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀後半)	前方後円墳	全長36m	横穴式石室	円筒、人物、家
⑥	和田古墳群	—	和田 (境川右岸台地上)	古墳時代後期か (6世紀後半)	円墳	全長20m	木棺直葬か	円筒、人物、 馬、鳥
⑦	蕪木古墳群	旭ノ岡古墳	松尾町蕪木 (木戸川左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀後半)	前方後円墳	全長76m	横穴式石室 (複式構造)	円筒、人物、 馬、鳥
⑧	板附古墳群	西ノ台古墳	板附 (作田川左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀後半)	前方後円墳	全長90m	不明	円筒、人物、 馬、家
⑨	森台古墳群	森台7号墳	森 (作田川左岸台地上)	古墳時代後期 (6世紀後半)	前方後円墳	全長26m	削平され不明	円筒、人物、馬

太字は令和6年度企画展「埴輪展」で展示に取り上げた古墳です。

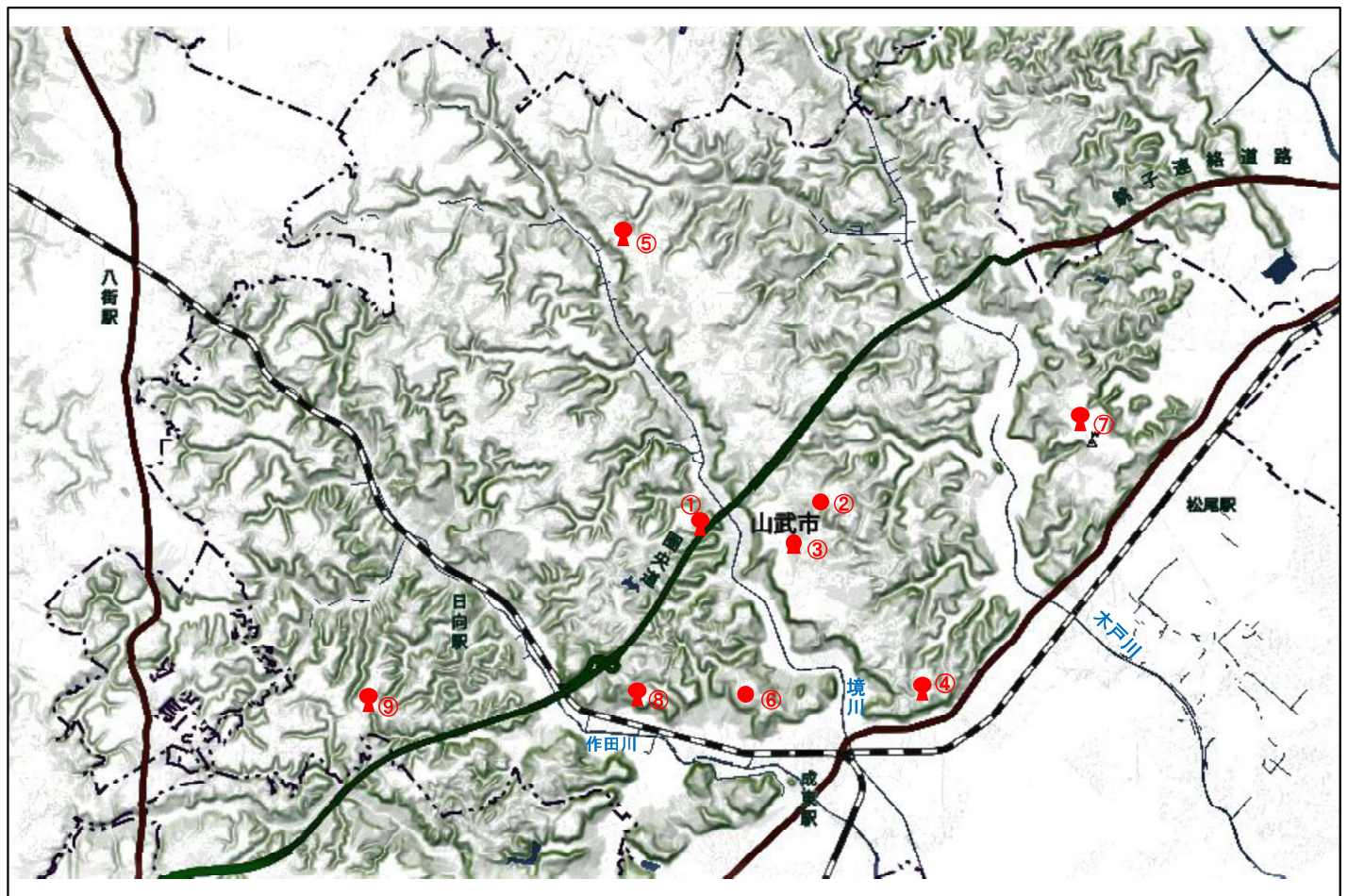


図1 山武市内で埴輪が出土している主要古墳所在地 (出典: 地理院地図を加工して作成)

※本紙の転載・複製はご遠慮ください。